

# 一 般 質 問 通 告 書

令和4年 北秋田市議会 9月定例会

順位	1-6	質問者	3	虻川 敬	( 新創会 )	出席を要求する理事者	市 長
質 問 事 項 及 び 要 旨						理 事 者 の 答 弁	
<p>1. 大雨被害について</p> <p>①8月の北秋田市内大雨被害について</p> <p>1) 今後、国、県では農作物被害について、いつ、どのような支援体制がなされていくか。それを経て、市ではさらなる支援についての構想はあるか。</p> <p>2) 秋田内陸縦貫鉄道の線路決壊が見られるが修復状況の見通しは。また、公共交通機関への支援体制はどのようになっているか。</p> <p>3) その他、市民の個人資産や地域の資産（法定外道路等）の被害についての支援状況はどのようになっているか。</p> <p>4) 災害時等の情報提供は防災情報メールがあるが現在登録者数はどの位か、防災メールに加えて、情報発信のツールとしてLINEの活用を提案するが検討してはどうか。</p> <p>2. 当市の観光について</p> <p>①森吉山の国立公園化について</p> <p>1) 環境省で発表された国立公園の大規模拡張候補地の発表を受け、市では国立公園化に向けどのように捉えているか。また、発表から現在まで環境省からの市への説明はどのようなものがあつたか。市から環境省へはどのような問い合わせや確認業務を行ったのかを伺います。</p> <p>2) 環境省で発表された国立公園の大規模拡張候補地の発表を受け、エリアのまたがる近隣市町村とはどのような情報共有があり、どのような取り組みを行ってきたか。また、今後はどのような取り組みを予定しているか。</p> <p>3) 環境省で発表された国立公園の大規模拡張候補地の発表を受け、今後市ではどのような動きが想定されるか。地元諸団体との連携はどのように考えているか。また今後想定される課題はあるか。</p> <p>4) この度は地元から環境省への国立公園や国定公園への昇格の要望ではなく、環境省が発表した案件であるが、市民並びに地域諸団体はどのような活動をしていくべきと考えているか市の意向を伺います。</p>							

### 3. 道の駅たかのすについて

#### ①道の駅たかのすのリニューアルについて

- 1) 令和4年3月議会にて本年度当初予算として道の駅たかのすの基本設計委託、地質調査委託が計上されていますが、その後の進捗状況はどうなっているかを伺います。
- 2) 道の駅たかのすの建設に当たり基本設計並びに実施設計などの時期はどのように考えているか。また、発注方式はどのように考えているか。発注先の範囲はどのように考えているかを伺います。
- 3) 平成24年に施行された北秋田市木材利用促進基本方針の中で、第4の2に「ただし、災害応急活動に必要な施設など、当該建築物に求められている機能等の観点から、木造化になじまない又は木造化を図ることが困難と判断されるものについては、木造化推進の対象としないものとする。」とありますが、道の駅たかのすはどのような位置づけか。
- 4) 建設にあたっては、地元産材を利用し、地元企業の力の結集にて道の駅のリニューアルをするべきと考えるが、当局はどのように進めるべきと考えているのかを伺います。
- 5) 道の駅たかのすリニューアルに関して地元住民や関連団体、関連業者との情報共有、また、実行委員会の開催・協議の状況はどのようになっているのかを伺います。

#### ②現在の道の駅たかのすの状況について

- 1) コロナ禍で人々の行動は自粛傾向となっているが現在の利用状況はどのようになっているか。
- 2) 道の駅たかのす基本計画に北秋田市の各観光場所への誘導事業も記載されているがそれは今からでもできる事業である。リニューアルをまたずにやれるべきことはすぐやるべきではないか。
- 3) 市内循環バスの道の駅たかのすへのアクセスの構想があるが開始時期とルート確定はいつ頃を想定しているのかを伺います。
- 4) リニューアルするまでの現在の道の駅たかのすの運営課題は何ととらえているか。

#### 4. 森林管理について

##### ①森林環境譲与税について

- 1) 現在までの森林環境譲与税の国からの交付状況と、それを財源とした事業実績、基金積み上げの実績と現在までの森林環境譲与税運用事業に対する市の評価は。
- 2) 全国的に森林を抱えていない自治体の多くは森林環境譲与税を使用できず、基金として積み上げている自治体が多いようですが、当市は総面積の83パーセントが森林であり積極的に森林環境譲与税を活用し国が求める森林管理体制構築を目指すことが急務であります。市の計画に遅れはないか。
- 3) 所有森林に関する経営管理の意向調査結果を踏まえ、現在の課題は何か。また、所有者不明の土地の割合はどの位であったか、さらに所有者不明の土地は今後どのような管理になって行くのか。

##### ②森林経営管理制度について

- 1) 森林経営管理制度(森林経営管理法)では、森林所有者に適切な森林の経営管理を促すため責務を明確化し、森林所有者自らが森林の経営管理を実行できない場合に、市町村が森林の経営管理の委託を受け林業経営に適した森林は、意欲と能力のある林業経営者に再委託。再委託できない森林及び再委託に至るまでの間の森林においては、市町村が管理を実施とあります。現在市内に意欲と能力のある林業経営者はどのくらいあるのか。不足はないか。
- 2) 森林経営管理制度において再委託できない森林及び再委任に至るまでの間の森林においては、市町村が管理を実施、となっているが、具体的にどのように管理されているのか。
- 3) 林業経営に適さない森林は市町村が管理を進め自然に近い森林(複層林)に誘導することになっているが、具体的に誰がどのように手を入れるのか。それにかかる費用等の想定を伺います。

##### ③北秋田市木材利用促進基本指針について

- 1) 第2公共建築物等における木材の利用の促進の意義の2森林の整備、地域経済・雇用の面での効果で雇用創出を図ることができると思いますが今までの林業従事者の雇用に対する実績と評価、課題を伺います。

- 2) 公共建築物の木造化及び内装木質化の推進に関する基準は平成24年3月30日に北秋田市木材利用連絡会議決定とあるがこの会議の決定はどのような構成員にて決定されたのかを伺います。

④再造林について

- 1) 県では民有林の伐採跡地に植林を促しており現在3割程度にとどまる再造林率を2025年までに5割に引き上げようと助成事業をしております。当市での再造林率はどのようになっているか。また、当市では再造林に対し独自の助成制度の検討はあるか。

5. 撤去された元町跨線橋について

①元町跨線橋代替え道路の建設について

- 1) 撤去された元町跨線橋に対する代替え道路建設の説明があったが、いつ事業実施にあたるのか。また、その道路を利用されるであろう市民への情報公開体制はどのようになっているか。
- 2) 万が一、鷹巣陸橋が何らかの原因で通行止めせざるを得ない状況が発生した場合、徒歩や車での移動の場合どのような回路が想定できるか。
- 3) 代替え道路を再検討し、元跨線橋があった場所に車も通れる鷹巣陸橋の代替えとしても利用できる道路の新設の必要性はないか。

6. 鷹巣中学校の登下校について

①鷹巣中学校への登下校時の交通状況について

- 1) 鷹巣中学校へ通学する生徒を送り迎えする保護者の車の台数が多く通学時陸橋付近の交通に支障が出ているように見受けられます。交通の安全性に関し、市としてはどのように見ているか。
- 2) 現在の鷹巣中学校スクールバスの利用率はどのようになっているか。スクールバスを利用できる生徒は学校からの距離で線引きされていると思うが父兄の送り迎えの車の台数を減らし交通の安全性を高めるためにもスクールバスの利用者規定の見直しをしてはどうか。
- 3) 現在スクールバスの利用料金は生徒負担がないという事であるが、スクールバスを利用できる生徒とそうでない生徒の家庭においての公平性をどのように考えているか市としての見解を伺います。